



たくさんのベルトに手を笑顔を見せる宮城さん

輝いてます

ひと

格闘技4種目チャンピオン

みやぎ そういち ろう
宮城 壮一郎 さん

努力の先にある強さを求めて

鍛

え抜かれた体一つで相手を倒し、強さを競い合う格闘技。第二中学校1年生の宮城壮一郎さん(12歳・中央4丁目)は、MMA(総合格闘技)、キックボクシング、シュートボクシング、ムエタイの4種目で計17本のチャンピオンベルトを獲得し、無類の強さを誇っています。

5歳のときに格闘技好きな父に連れられ、総合格闘技ジム「FREDDOM@OZ」の門を叩くと、小学1年生でMMA公式戦デビュー。初の試合に意気込むも、結果はまさかの27秒で敗退し、忘れられない悔しいデビュー戦となりました。これを機に、「強くなるには努力をするしかない」

と、より練習に取り組みよう。試合での勝ち負けを繰り返しながら経験も積んでいくと、10か月後の試合で同じ相手に念願の勝利を収めます。

この経験で努力は裏切らないと感じた宮城さんは、その後も毎日5時間の練習を積み重ねていきます。一步一步着実に力をつけていくと、小学

5年生のときにMMAトーナメントを全試合関節技での一本勝ちで制し、初のチャンピオンベルトを手に入れます。勢いそのままに打撃系3種目でもベルトに挑戦し、みごと獲得。今年3月には通算250勝を達成したほか、自身17本目のベルトも手にしました。

4月から中学生になり練習時間が短くなった分は、朝5時に起きてランニングや筋トレでカバー。ジムでは大人とスパリングをするなど、鍛錬に励んでいます。「今は先の見えないしごを上っている途中。どこまで上れるか楽しみです」とほほえむ宮城さん。「使う技全部が得意技」という圧倒的自信と、それを裏付ける練習量を武器に、強敵を倒し続けることでしょう。はしごを上り続けた先に見える景色とは。挑戦は続きます。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.97—



晩斎筆「桃太郎鬼征伐之図」
絹本墨画彩色 軸装 双幅

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます



詳しい内容は
美術館のホーム
ページを御
覧ください

本図は桃太郎が鬼を征伐した後の場面を描いた掛軸です。右幅では鬼の上に桃太郎が座り、子供(お供)の動物たちもよい姿です。脚付台の上には鬼たちの宝物が差し出されています。一方、左幅では青鬼が両手をついて頭を下げていますが、鬼の妻子や老婆、子連れの鬼や他人事のようにに談笑する鬼なども描かれています。鬼を単なる恐ろしい存在としてとらえず、人間と同じように、老若男女によって社会が構成され、思い思いに生活している姿が表現されています。

河鍋晩斎記念美術館 開催中(24日まで)

企画展「国際博物館の日記念 晩斎・晩翠 物語絵の世界」展

同時開催 特別展「晩斎没後135年

『晩斎画談』で振り返る晩斎の逸話」展

開 館 = 午前10時～午後4時 ところ = 南町4-36-4

休 館 = 火・木曜日、26日～末日

入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円

小・中学生300円 65歳以上500円

※65歳以上は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳 細 = 同館(☎441・9780)

yosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)